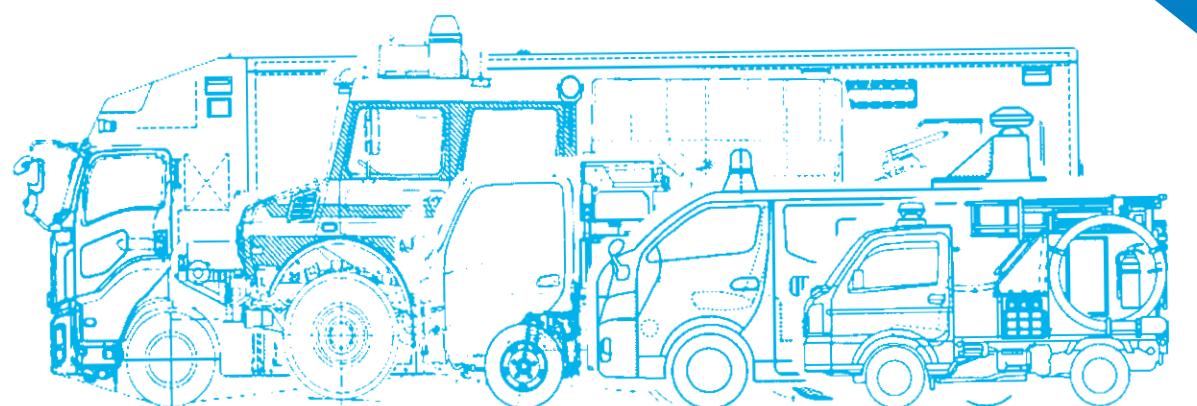


TONOX Co., Ltd.  
SINCE 1950



## 会社案内



株式会社トノックス  
神奈川県平塚市長瀬 2-6  
TEL(本社):0463-23-2525  
H P:<http://www.tonox.jp>  
MAIL: [contact@tonox.com](mailto:contact@tonox.com)



各種公式SNS



# Overview

## 会社概要

会社名	株式会社トックス
設立	昭和 25 年(1950 年) 10 月
代表者	代表取締役社長 殿内 崇生
資本金	3 億 3,000 万円
従業員数	280名(令和7年3月現在) グループ全体 410名
事業所	本社・本社工場 〒 254-0021 神奈川県平塚市長瀬 2 番 6 号 tel : 0463-23-2525 (代) 横浜工場 〒 240-0042 神奈川県横浜市保土ヶ谷区 上星川3丁目22番5号 tel : 045-371-3261 (代) 菊川工場 〒 439-0023 静岡県菊川市三沢 1500-30 tel : 0537-35-2501
事業内容	特装・特装車の設計開発、製作 輸入車の出荷前納車点検整備 電着塗装による自動車車体・部品塗装、建機塗装
主要取引先	日産自動車(株) / スズキ(株) / (株) SUBARU / 三菱電機(株) (株)小松製作所 / (株)シバウラ防災製作所 / (株)モリタ スカニアジャパン(株) / 日本カーソリューションズ(株)
取引銀行	東日本旅客鉄道(株) / 西日本旅客鉄道(株) (株)ヤナセ / (株)ティアフォー 総務省 / 警察庁 / 警視庁 / 国土交通省 / 防衛省 その他官公庁国産及び輸入車各社販売店
ISO	横浜銀行 平塚支店 / 三菱UFJ銀行 茅ヶ崎支店 みずほ銀行 横浜駅前支店 / 三井住友銀行 湘南法人営業部 ISO9001:2015・14001:2015 取得 ISO9001 品質に関する声明 ISO14001 環境に関する声明
グループ会社	ヤナセテック(株) 特種車、福祉車両、シェルタ等の設計・ 製造及びクラシックカーのレストア事業 tel : 0463-86-6104 (代) ワイ・エンジニアリング(株) メルセデス・ベンツウニモグ代理店 特殊・特種車両、鉄道用車両、部品、附属品の輸入、 卸売、小売及びアフターサービス tel : 045-048-0220 (代) (株)トップス・ジャパン 車両、パーツ、アクセサリー販売、車検・整備業務、 保険業務等

## Top Message

株式会社トックス 代表取締役社長

殿内 崇生

モノづくりに誇りを持って未来を作る。



株式会社トックスは、創業以来、車体製造、特装車架装の設計・製造を通じて、社会の多様なニーズに応えてきました。お客様の声に真摯に耳を傾け、それぞれの要望に合わせた一台を、高い技術力と柔軟な発想で実現することを大切にしています。長年の経験と実績に裏打ちされた技術力は、お客様からの信頼に繋がっています。

近年、自動車産業は大きな変革期を迎えており、MaaS(Mobility as a Service)の普及や、環境意識の高まりに伴うEV(電気自動車)の導入、そして自動運転技術の開発が加速しています。このような新しいモビリティの潮流に対し、弊社は車体製造、特装車架装の技術とノウハウを活かし、積極的に貢献していきたいと考えています。

大手企業ではファブレス化が進む傾向にありますが、私たちは、日本国内で培ってきたものづくりの精神と技術には、依然として大きな価値と可能性があると確信しています。画一的な大量生産ではなく、お客様一人ひとりのニーズに応じた、開発や架装に挑戦することで、新たな社会のニーズに応えていきたいと考えています。

製造業として、ものづくりを深く追求し、その本質を極めることで、社会に貢献していくという理念は変わりません。高品質で安全、そして信頼性の高い特装車を提供することはもちろん、最先端の技術動向を踏まえ、持続可能な社会の実現に貢献できるような製品づくりを目指して絶えず挑戦を続けてまいります。

お客様の期待を超える製品を提供することで、社会の発展に貢献し、なくてはならない企業として成長していくことが、私たちの目標です。ものづくりへの情熱と、未来のモビリティ社会への貢献という新たな挑戦を通じて、社会に貢献できる企業であり続けるために、邁進してまいります。

# History

トノックスの歩み

昭和 23 年 横浜市において創業  
日産自動車(株)の委託を受け、  
全鋼製車体を試作・完成

昭和 25 年 「殿内工業株式会社」を設立  
日産自動車(株)の協力工場として  
自動車車体を製作  
ダットサントラックの生産開始

昭和 34 年 横浜工場を新設  
初代日産フェアレディの生産開始

昭和 38 年 資本金 5,000 万円  
初代日産シルビアの生産開始

昭和 42 年 平塚工場を新設  
アルミバン、トラックボディの生産開始

昭和 45 年 資本金 1 億 5,000 万円

昭和 48 年 本社所在地を平塚市に移転

昭和 54 年 バン型保冷車の生産開始

昭和 57 年 建設機械用キャビンの生産開始



創業 70 年以上となる、  
特殊車両メーカーのものづくり



平成元年 輸入車の出荷前納車点検整備を開始  
リムジン・ストレッチ車の生産開始

平成 3 年 社名を「トノックス」に改称

平成 4 年 関東運輸局指定  
【自動車整備工場】免許を取得  
車検整備事業を開始

平成 6 年 日産サファリの生産開始

平成 11 年 資本金 3 億 3,000 万円  
樹脂塗装を開始 (サービスバンパー用)

平成 12 年 創立 50 周年

平成 13 年 國際品質基準  
ISO-9001 認証取得

平成 14 年 國際環境基準  
ISO-14001 認証取得

平成 16 年 大型車両特殊車 (医療車・消防車) の生産開始

平成 18 年 軌陸車の開発・販売開始

平成 22 年 創立 60 周年  
各社の商品宣伝車・モニターカー・サービスカーの生産開始

平成 23 年 路面性状計測車 製造・計測・解析

平成 25 年 津波・大規模災害対策車の生産開始  
さがみロボット産業特区 認定

平成 26 年 第二工場稼働開始  
第一工場・第二工場総面積 45,600 平方メートル

平成 29 年 旧車レストア事業の拡張  
経済産業省「地域未来牽引企業」選定

令和 3 年 多仕様自動車 細目告示別添 52 適合宣言書  
発行者に指定

令和 4 年 生産拠点拡充の為、静岡県菊川市に新工場設立、  
令和 5 年度より本格的稼働



# 社員インタビュー

# Interview

Tatsuya Kashiwagi



## “好き”を仕事にする

私は専門学校時代に2級整備士の資格を取り、新卒でTONOXに入社しました。もともと車やメカニック全般が好きだったので、そのために必要な技術を身につけ、手に職を持てたことは本当に良かったと感じています。自分の好きだった“車いじり”がそのまま仕事になっているような感覚なので、まさに天職だと思っています。

## 特装車を試作する仕事

入社後すぐに配属されたのはトライム（試作）を専門とする部署でした。まだ世に出す前の製品や部品などを扱い、一般車両ではなく特装車両を製造していくわけです。なかなか公には言ってはいけない情報も沢山あり、求められる技術は2級整備士

の私でもかなりハイレベルなものばかり。専門学校で学んできたことが基礎編だとしたら、当社で手掛けているのは完全に応用編と言えます。

## やりがいと自信に繋げて

特装車は一車両一車両全てがカスタマイズされており、毎回同じ作業を行なっていくわけではありません。2級整備士の資格を持つ私でも、入社後しばらくは右も左もわからぬほどでした。しかし日常では絶対に触ることのできない特装車に実際に触れ、自ら一つひとつの工程に関わっていける仕事は大きなやりがいでもあります。車やメカが好きな私にとっては最高の職場でもあります。そして今では自分でできる範囲がどんどんと広がっていき、少しずつではありますが自信にも繋がっていました。自分ができること、

成長を実感できるのは本当に楽しいですし、これからももっと経験値や技術力を伸ばしていきたいと思っています。

## 変化を楽しみ、車と向き合う

常に車業界は日進月歩ですし、技術やノウハウは日々進化しています。

この20年の間でもいろいろなアップデートがありました。だからこそ自分も技術を常に磨いていかなければいけませんし、学ぶことが絶えない仕事もあります。特殊車両の製造に携わって20年のキャリアを積んだ今でも、初めて知る技術やノウハウがあったり、初めて出会う車ばかり。まさに毎日が発見と成長の連続でした。その変化を楽しみながら、これからも大好きな車と向き合っていきたいですね。

## Hiroki Ooya

Episode  
02誇りを持てる仕事で  
頼もしい仲間と共に

製造部\_2014年入社 / 大矢 弘樹



## ペイントに魅せられて

私は特装車などの塗装施工（ペイント）がメインの業務ですが、自分にとって塗装は花形の職業だと思っています。消防車やパトカーをはじめ一般車両にはない鮮やかな色が施された特装車も、初めはみんな無垢の金属。それらがペイント担当の手によって色鮮やかに変わっていく様を見るのは、すごく誇らしいことです。そんな魅力を感じて入社後にペイント配属を希望しました。

## 社会を助ける車をつくる

学生時代から今の道に進もうと決めていたわけではなく、当時は将来何をしたいのかもわからないまま製造工場などを見て回り、最終的にトックスに決めました。その理由は、ここでしか出来ない仕事があるからです。特装車の多くは世の中が困っているとき、大変な時に出動する車両ばかり。そんな時に活躍する車づくりに携わる機会は他になく、本当に素晴らしい仕事だと感じます。

## 切磋琢磨できる職場環境

塗装は一概に塗ればいいという作業ではなく、塗る人の技術がそのまま塗装肌に表れる仕事です。ちょっとした加減一つで良し悪しも変わり、すごく奥深い。私も入社当初は失敗ばかりで、たくさんの反省があるからこそ成長できました。トックスでは仲間同士で切磋琢磨ができる環境が整っており、出来ないことを補ってくれる上司や先輩、頼もしい同期も沢山います。新入社員の方々には失敗を恐れずにどんどん挑戦してほしいですね。

社員インタビュー  
Interview

Akihiro Motoyama

Episode  
03車好きじゃなくても  
好きになれる職場があればいい

製造部\_2015年入社 / 本山 哲博



## 友人に自慢できる仕事

トックスの製造部は大きく分けてトリム、ペイント、メタルの三つに分かれます。その中で私が担当しているのはトリムで、電装部品などを取り付ける作業を担当していました。

テスト検査や確認のため警察車両のサイレンを鳴らすなど、他の仕事では経験出来ないような職業でもあるため、大きなやりがいを感じています。友人に自慢できる仕事ですね。

## 居心地のいい雰囲気の中で

高校では電気科を卒業し今の仕事に就きましたが、もともと車が好きで入社を決めたわけではありませんでした。私と同じくトックスには、車好きではない、車に詳しくない、そういう方々もたくさん働かれているんです。車が好きでなくても何でも相談できるような仲間がいましたし、職場は風通しがよく居心地のいい雰囲気。それが今まで10年にわたり仕事を楽しく続けてくれた理由でもありました。

## 良いモノづくりをするために

私たちの会社は世の中には公表できない情報などを数多く扱っており、現場ではいつも緊張感を持って作業に取り組む必要があります。例えば車両に電線を通す作業などでも、すごく神経を使います。一人ひとりが責任感を持って役割を全うしなければいけません。だからこそ助け合える仲間の存在がとても大事ですし、風通しの良さがあるからこそ良いモノづくりができる。私はそんなトックスの社風が好きです。



# 社員インタビュー

# Interview

Daiki Miyamura



Episode  
04

事故や災害にも貢献する  
“働く車”の技術力に魅せられて

技術部\_2014年入社 / 宮村 大輝

## 世の中の助けとなるために

入社のきっかけは2012年に遡ります。当時、笹子トンネル崩落事故のニュースを目にした私は、トンネル計測車という特殊車両の存在を初めて知りました。

事故後の対応では計測車の活躍もあり、無事にトンネル利用再開の目処がたっています。世の中には事故や災害に貢献する、誇るべき技術を搭載した車両があるのだということを思い知らされました。さらに調べていくと、その計測車を製造していた会社がトノックスだったのです。すぐに求人を見て応募し、入社を決意。様々な事故やインフラ整備などに関わり、世の中の助けとなる素晴らしい仕事ができると確信しました。

## お客様の声を糧に

入社後は念願が叶い、数年にわたり路面の亀裂・わだち・平坦性を検査する路面測定車の設計に携わってきました。現在も技術部の一員として特装車の設計を行っています。

その中で、実際に設計した車両を納品した際、お客様から貴重な意見や感想を伺うこともあります。「使いやすい」と喜んでいただけることは、私にとっても最高の喜びでした。納車時にいただくお客様の生の声は、例えお褒めの言葉ではなかったとしても、次の反省に繋がる貴重なご意見でもあります。そうした一つひとつの声を糧にしながら、さらに設計者として成長していきたいと思っています。

## 挑戦という名のフィールドで

路面計測車の設計を担当していた当時、トノックスでは従来の油圧式装置から電動式装置に置き換える方針

を固めていました。時代の流れに伴い、様々な場面で柔軟に変化し、成長を続けていることもトノックスの魅力の一つではないでしょうか。実際に電動式装置に置き換えた計測車のプロジェクトでは、現場の各担当者と話し合いを重ねながら、やっとの思いで改造申請を行い無事に車検を通過することができました。新たな挑戦ができる環境も大きなやりがいに繋がっています。

## 責任感を持ち、技術者の高みへ

これまででは設計者として工程の一部分に携わってきましたが、今後は全体の費用面や現場工程まで細かく把握し、責任感を持ってもっと全般的に携わっていけるような技術者になっていけたらと思っています。そして、自分が手がけた働く車をもっともっと街に送り出していきたいですね。

## Yudai Suzuki

Episode  
05地元・湘南エリアで  
人に恵まれた職場に出会う

営業部\_2024年入社/鈴木 雄大



## 何事も前向きに頑張るために

私の実家は茅ヶ崎市内で、湘南エリアに本社を置くトノックスは自分にとって最高の立地環境でした。ただ車に関する知識も乏しく、果たして自分が営業職としてやっていけるかどうか、最初は不安があったことも事実です。営業は見積書や社内向け連絡票の作成をはじめ、お客様との商談や打合せなど、業務は多岐に渡ります。その一つひとつを手取り足取り教えてくれる上司や先輩がいたからこそ、何事も前向きに頑張

ることができました。一緒に働く方々の有り難み、その大きさを改めて実感しています。

## 製造部と営業部の関係性

営業部で受託した案件を円滑に進め、納車まで完了させるためには、実際に車をつくる製造部の方々とのコミュニケーションが欠かせません。まだまだ私も未熟なので、何かある度に現場に顔を出し、積極的に製造部の方々と話し合う心がけてきました。製造部の方々も皆さん良い人たばかりで、自分

が担当する車両の進捗など、どんな相談にも耳を傾けてくれます。本当に助かっています。

## 目標は何でも自発的に

私の場合は初めから車の知識に詳しかったわけではないので、良い先輩や上司に恵まれ、今日まで何とかやってこれたのだと思っています。今後は誰かに頼るのではなく、自分自身が知識を蓄え、自発的に自分で何でもできるようになっていきたい。それが当面の目標ですね。

社員インタビュー  
Interview

## Touya Kamikura

Episode  
06憧れる上司の背中を追いかけ  
いつかは自分も頼られる社会人に

営業部\_2024年入社/神藏 桃也



## 可能性を引き出せる場所で

就活エージェントを利用してトノックスを知ったことが入社のきっかけになりました。初めは全く未知の業界でしたが、官公庁との取引や特装車の製造という目新しい部分に魅力を感じ、自分の可能性を最大限に引き出せる環境になるのではないかと感じ入社を決めたんです。

## 恵まれた挑戦できる機会

トノックスの営業職は、お客様と一から打

ち合わせを重ね、要望通りに案件を形にしていく工程を管理することも重要な役割です。そうした提案を自分が先頭に立って実行できることには大きなやりがいを感じてきました。担当する案件以外にも上司から仕事を振っていただき、たくさんの挑戦できる機会も与えていただけます。それが「もっと頑張ってみよう」と思える原動力になりますね。

## やり遂げる人になるために

営業部に配属されて僅か3ヶ月足らずで、

夜間道路工事に使用する照明車の納車に立ち会いました。たった一人で出張してお客様に納車説明を行い、特装車を世に送り出す経験を積めるとは思ってもみなかつたことです。とても思い出深いエピソードになりました。今後も積極的に自分から進んでやるという姿勢を持ち、その姿勢を継続していくことで“やり遂げる力”を培っていきたい。憧れる先輩や上司もたくさんいるので、そうした背中を見て学びながらも、いつか上司や先輩から頼りにされる社会人に自分もなっていきたいと思っています。

# TONOX Strengths

TONOX は皆様のモビリティライフを応援し、様々な可能性に挑戦します。

## ▶ nicomobi × TONOX

クロスケはトックス生まれです。

トックスの社内工場で製作された超小型EV車として、第1種原動機付き自転車（ミニカー）に分類されました。超小型モビリティのため、バイクと軽車両の中間を補う、新たなモビリティの選択肢の一つとして注目を集めています。

クロスケは都市部や過疎地での新たな移動手段として普及が期待されるだけでなく、環境負荷の低減や効率的な物流の実現に向けて大きな可能性を秘めたモビリティです。



## ▶ コンバージョンEVランクル60とクロスケを ジャパンモビリティショーに出展



### TONOX × METAx

超小型EV技術研究組合（METAx）が開発した車両に対し、トックスの強みである車体組立技術・技術検証のノウハウを活かしながら、マイクロユーティリティビークル（MUV）を製作しました。

### TONOX × FLEX

ランドクルーザーとハイエースを専門販売されているフレックス社と“夢のクルマ製作プロジェクト”を発足。ランクル60を「ガソリンエンジンからEV車」へコンバージョン（コンバージョンEV）しました。フレックス社が持つ販売力とトックスが持つ架装技術力を組み合わせ、これまでにない夢の車の製作を実現しています。

## ► FLEX SHOW AIKAWA Racing with TOYO TIRES に協力



「アジアクロスカントリーラリー（AXCR）」をはじめとするラリー競技では、FLEX SHOW AIKAWA Racing with TOYO TIRES チームにトノックスが協力。ランドクルーザー PRADO を軽量化するため、エンジンフードやリアドア、リアサイドウンドウをFRPで作成するなど、ラリー仕様の改造やオールペイント（塗装）を施した車両が各レースで活躍しています。アジアクロスカントリーラリー（AXCR）では総合優勝も飾りました。



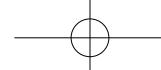
## ► 開発した搬送用ロボットを ジャパンモビリティショウに出展

東京科学大学（旧東京工業大学）×TONOX

今回の出展では、東京科学大学（旧東京工業大学）工学院 遠藤玄研究の学術指導を受け開発した搬送用ロボット（AGV）を出展しました。名称をTRAT（型式：TX-UGV01）と名付け、約300kgの牽引を可能にするだけでなく、1回の充電で3～4時間の持続走行を実現しました。搬送用ロボットの新たな可能性を提示していきます。



*Our strengths*



## 特装車



## 軽自動車～大型車両まで幅広い対応

トノックスでは、法規にあった形で軽自動車、乗用車のフルオーダーの架装や大型トラック、バスを骨格材料から面体を組み製作する車両や特殊ガラス・特殊鋼板を使用した車両の製造などを行っております。フルオーダーで対応可能な為、これまで世の中になかった車両もお客様のご要望に応じて実現する事が可能です。

## 開発・設計・製造までのワンストップサービスを実現します

トノックスでは、開発・設計部門、製造部門を有し、お客様との打ち合わせにより、開発・CAD設計・製作全て社内対応が可能です。その結果として、安定した品質保証の対応を行えます。

現在では、40名を超える技術員、200名を超える製造員の元、的確な納期・高品質・仕様に適した材質や製造方法を提案し、ご要望に応じたコスト実現を行ってまいります。



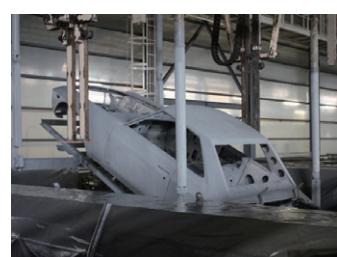
## 塗装



## 実車を凌ぐクオリティー

トノックスは、車体・ボディ・パーツに利用できる防錆塗装設備を保有しております。自動車製造会社だからこそ出来る電着塗装(ED)は、従来のエアスプレー方式に比べて塗装膜厚を時間・電圧等によりコントロールでき、均一な膜厚を容易に得る事ができます。

トノックスの電着塗装は、12の工程を経て、最後に170度のオーブンで焼き付けし、塗料を乾燥・定着させます。その為、実際に量産されている車と同じクオリティを実現致します。新規の試作やレストア用の旧車など、車種に問わず1台からお受けさせて頂く事が可能です。



## 大型車両専用塗装リフター

バスやトラックなどの大型車両にも対応できるリフターの設置を行いました。これにより塗装前処理の作業改善が図れ、納期短縮を実現いたします。



## 月5,000本の塗装実績がある樹脂塗装

FRP(繊維強化プラスチック)、ABS(アクリロニトリル ブタジエン スチレン)、PP(ポリプロピレン)、PU(ポリウレタン)製樹脂のオプションパーツ、各アイテムへの塗装が可能です。自動車メーカーのサービスバンパー工場として月間5,000本を塗装し、高い品質基準を遵守した樹脂塗装を行っています。バンパーやスポイラーといったオプションパーツだけでなく、家具、椅子、遊具、電機製品等の自動車用途以外への対応も可能です。

TONOX

TONOX

# Employee Benefits

## 福利厚生

諸手当	時間外勤務手当 / 通勤手当(全額支給) / 家族手当
賞与	年2回(7月・12月)
勤務地	本社(神奈川県平塚市)
勤務時間	8:30 ~ 17:30 (実働8H、フレックス制度あり) 完全週休2日制(土・日) / 年間休日115日
休日休暇	GW・夏季・年末年始(連続9日前後) / 有給休暇15日(初年度) 慶弔休暇 / 有給休暇取得促進日(年間5日前後)
社会保	健康保険 / 厚生年金保険 / 雇用保険 / 労災保険
福利厚生	車通勤可 / 社員食堂あり / 食費補助あり / 退職金制度 社内クラブ活動あり(野球・フットサル・駅伝) / 永年勤続表彰あり / 健康保険組合・保養所あり
教育制度	入社時研修・職制研修・資格取得補助

## お問合せ先

株式会社トックス 総務部 / TEL: 0463-23-2525 / MAIL: contact\_tn@tonox.com



## Area map

- 東京までJRで1時間5分
- 鎌倉までJRで30分
- 新宿・渋谷までJRで1時間15分
- 横須賀まで車で1時間30分
- 横浜まで40分
- 箱根湯本まで車で30分
- ディズニーリゾートまで1時間42分
- 伊豆熱海まで車で1時間5分
- 江ノ島まで車で15分
- 富士山まで車で1時間30分



レモンガススタジアム平塚

TONOX

株式会社トックス

TONOX  
トックス横浜工場



JR 東海道線

みなとみらい



湘南ベルマーレ  
ひらつかビーチパーク



江ノ島



相模湾

©kanagawa pref. Kanagawa-Ken# 6

# Recruitment

## 新卒採用

### 自動車好きな人集まれ! モビリティ企業への挑戦!!

### 経済産業省「地域未来牽引企業」選定

私たちトノックスは、働く車の専門メーカーとして様々な特殊・特装車両を製造しております。緊急車両、移動販売車、バスの架装やトラックの荷台製造、法規にあった仕様への対応など企画・開発から製造まで行ってまいりました。多様化し、広がりゆく社会に向けてトノックスは自動車架装メーカーからモビリティメーカーへと認知される企業を目指します。モビリティとは、自動車などの移動交通手段や5G、AI、IoTなどのテクノロジーを組み合わせる事で起こる変化であると捉えています。モビリティメーカーとなる為には、車両架装だけに留まらず、システム開発や自動車以外の乗り物も取り込み、社会への貢献領域を増やしていきます。中でも電気・水素・燃料電池などの代替エネルギーへの対応、自動運転車両への対応などこれまでの経験を活かし幅広くご対応させていただきます。そして、トノックスの目指すべき未来として、日本全国・世界中の皆様に「安心・安全をお届けする企業でありたい」そう願っております。トノックスはこれまで蓄積されたノウハウをさらに深め、ものづくりを実現する企業として新しい製品の開発・製造・販売を進めていきます。



### 採用実績

#### ○採用実績（学校）

##### <大学>

青山学院大学、亜細亜大学、茨城大学、桜美林大学、神奈川大学、関西大学、関東学院大学、慶應義塾大学、駒澤大学、芝浦工業大学、上智大学、湘南工科大学、成蹊大学、専修大学、高千穂大学、玉川大学、千葉大学、中央大学、帝京大学、桐蔭横浜大学、東海大学、東京学芸大学、東京都市大学、東洋大学、日本大学、防衛大学校、法政大学、明治大学、横浜商科大学、琉球大学、早稲田大学

##### <短大・高専・専門学校>

秋田工業高等専門学校、熊本高等専門学校、仙台高等専門学校、鶴岡工業高等専門学校、鳥羽商船高等専門学校、長岡工業高等専門学校、長野工業高等専門学校、八戸工業高等専門学校、都城工業高等専門学校

米国インカーネイト・ワード大学





## トノックスの強み

### 対応力

企画・設計から、製造・整備まですべて自社にてまかなえる一貫体制により、高い対応力を実現しています。お客様のご要望を的確にカタチにするため、さまざまな問題点を抽出し、各現場からのアイデアやお客様からの直の声を反映して改善しつづけることが可能です。

### 技術力

創業以来、知識・経験・技術力を積み重ねてまいりました。私たちがクルマづくりの歴史の中で大切にしてきたことは、お客様の課題解決のために、最善の品質を追求していく姿勢と取組み。それは、私たちの車づくりへの姿勢でもあります。

### 品質

高い品質を維持するため、トノックスには、各専門を担当するスペシャリストが多数在籍しています。各部門での技術品質の高さはもちろん、これまで培ってきた経験を最大限活用し、最高のパフォーマンスを提供します。



Building the future with pride in manufacturing

～創発が生み出す無限の可能性～

車体製造・特装車架装メーカーとして社会に貢献します。



これまでの技術と

最新のテクノロジーを組み合わせ、

新たな一歩を進みます。